

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ハッピーテラス門真教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな資格を持つ職員が集まって話し合うことで、多角的な視点から、チームで支援を行うことができている。	活動が終わった後や翌日に振り返りを行い、毎日の活動前のミーティングでは子どもの最近の様子や気になることなどを共有し、適切な支援に向けて話し合っている。	非常勤職員と振り返りを共有できないことがあるため、必要なことは回覧して確認できるようにするなどの工夫が必要である。
2	自立に向けたトレーニングや個別支援に加えて、クッキングや工作、外出などのイベント、また映像を使った運動療育など同じ活動が続かないように工夫し、楽しみながら通所してもらえるように思考を凝らしている。	毎週活動プログラムに関する会議を行い、活動についてチームで検討している。また、利用者が週によって固定されておらず日によって違うため、1日ごとの利用者にも合わせて計画を立てている。	1日の流れを見直して、休み時間を十分に取れる時間配分に2026年2月より変更する。これにより、自分でやりたい遊びを決めて過ごすといった、自己決定の時間も大切にできるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を開催する機会が減っていて、保護者同士で交流する機会が少なくなっている。	平日に参加できる保護者が少なく、土曜日は子どもが教室にいる時間が平日よりも長いため、保護者会のための時間を取ることができていない。	保護者の来所しやすい曜日や時間のアンケートを取り、まずは少ない頻度からでも保護者会を開催できるようにする。
2	地域の他の子どもと交流する機会がない。	地域のイベントに参加するなどしているが、放デイとして行動しているため別のコミュニティの子どもたちと交流するには至っていない。	地域に根差した放デイとして機能するため、事業所に来てもらえるようなイベントや、イベントで出店する側に立つなどして地域とつながりを持てるようにする。
3			